

授業科目	母性看護学方法論Ⅱ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次後期	1単位	講義・GW	30時間
到達目標	1.ライフサイクル各期の健康上の問題とそれに対する支援の方法を理解する 2.妊娠、分娩、産褥が母子に及ぼす影響や妊産褥婦と新生児および家族への支援の方法を理解する 3.妊産褥婦・新生児期に起こる主な異常についてその予防を含めた支援の方法を理解する					講師
						助産師 専任教員
授業計画						
1回	妊娠の理解と看護 1) 妊娠期の身体的・心理・社会的特性 2) 妊婦が受ける母子保健サービス 3) 妊婦の健康相談・教育の実際 4) 親になるための準備教育					助産師 (16時間)
2回	妊娠期の異常と看護：ハイリスク妊娠の看護：高年妊婦,若年妊婦,妊娠高血圧症候群妊婦,切迫流・早産の妊婦,多胎妊婦,ART後の妊婦,合併症を有する妊婦					
3回	分娩の理解と看護 1) 分娩の進行と産婦の身体的・心理・社会的変化 2) 分娩が胎児に及ぼす影響 3) 安全・安楽な分娩への看護：基本的ニード 4) 家族発達を促す看護					
4回	分娩期の異常と看護：異常のある産婦の看護：破水、遷延分娩、胎児機能不全、帝王切開術、急速遂娩、分娩時異常出血のある産婦					
5回	産褥の理解と看護 1) 産褥期の身体的・心理・社会的変化 2) 進行性・退行性変化への看護 3) 児との関係確立への看護					
6回	産褥の理解と看護 1) 育児にかかわる看護 2) 家族関係再構築への看護 3) 産後の子育て支援					
7回	産褥期の異常と看護 1) 異常のある褥婦の看護：子宮復古不全、乳房トラブル、感染症を有する褥婦 2) 児を亡くした褥婦・家族の看護 3) メンタルヘルスに対する支援					
8回	新生児の理解と看護 新生児期の異常と看護：新生児仮死、早産児、低出生体重児、高ビリルビン血症					
9～10回	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 小児期・思春期（やせ、肥満、性意識、性行動の発達、第二次性徴、月経異常、性感染症）・成熟期（不妊症、女性生殖器疾患）・更年期（閉経、更年期症状）・老年期（骨盤臓器脱、老人性陰炎）の健康課題					専任教員 (14時間)
11回	保健指導とコミュニケーション 自己決定権擁護、保健行動の動機づけ、自己効力感へのはたらきかけ					
12～14回	女性の各ライフサイクルにおける健康の維持・増進のためのグループワーク					
15回	成果発表					
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験 助産師（50%）専任教員（50%）を総合して評価する					
教科書	助産師：系統看護学講座 専門分野 母性看護学②母性看護学各論 医学書院 母性看護学Ⅱ 周産期各論 医歯薬出版株式会社 専任教員：系統看護学講座 専門分野 母性看護学①母性看護学概論 医学書院 母性看護学Ⅰ 概論 医歯薬出版株式会社					
参考書	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護					
備考	予習においては教科書の該当ページを熟読する。また、講義に関連する報道・記事などに関心をもち発展的理解に努める。グループワークは事前課題に取り組み積極的に参加する。復習においては、教科書、講義資料を用いて学習した内容を整理し、理解を深める。					